

---

# Boys be ambitious

大友和幸

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

Boys be ambitious

### 【Nコード】

N2399BA

### 【作者名】

大友和幸

### 【あらすじ】

過去に起きた、ある出来事がきっかけで少年・桜場 木庭斗は女性に対して偏見を持つようになってしまう。

しかし高校で美少女 雪子と出会い、自分を変える

決心をする……。



## 1、女

男はなぜ女を守らなきゃいけないんだ？

なぜ女は常に上から目線で俺を見る？

女を守るのが男の義務？

そんなの知ったことか。

キヤーキヤー騒いでたり、急に甘えた声で誘惑してきたりよ。

女なんて「嘘」の塊さ。

俺も常に女を避けてきた。

でも俺は

好きになってしまった。あの子を。

その出来事が俺のすべてを帰ることになる。

4月、青晶学園 入学式。

高校は新しく内装されていて、新築の匂いがした。

なにより希望にみちあふれていた。

「よっ。」

肩に手をかけた来たのは中学のときの同級生、荻 秀馬だった。

秀馬は勉強ができたし、何より女にモテた。

「なんだよ、俺お前がここの高校受けてるなんてしらなかつたよ。」

「そついえば言っただけじゃなかつたね。」

「言ってくれよー。あんまり同じ中学の人いないからさあ・・・心配  
だつたんだよ。」

秀馬は誰にでも自然と接して話すことができる。

俺はどこか、秀馬をうらやましがってのかもしれない。

秀馬は俺と同じクラスだった。

1 - C 教室

「えー、私が担任の松島です。1学年を持つのは、2年ぶりです。

とにかく、みんなが無事に卒業できるよう、全力でサポートしていきたいと

思います。どうかよろしくお願いします。」

小太りの中年の先生はなんとなく優しそうな雰囲気があった。

ここで高校に対する1つの不安「教師」が消えた。

先生の話が終わった後、すぐにその日は下校になった。

そこでまた、秀馬が声をかけてきた。

「おい、木庭斗。お前の好み見つけたか？」

「好み？」

「しらばっくれんなよ・・・高校の楽しみなんかほぼそれだろ？」

「ああ・・・女ね」

秀馬は極度の女好きである。毎日そういうことばっかり話している

という

噂まで流れているほどだ。

なのに女に持てる。なんて得した人間なんだろう。

「俺はお前みたいに女好きじゃねえし・・別に興味ないし・・」

そう言いかけたときだった。

秀馬は口をぽかんと開けたまま横を向いていた。

「何あほみたいな顔してんだよ・・」

一瞬、そこに太陽があるように見えた。

きらきら輝くその物体は、徐々に光量を下げっていく。

その物体は人間・・女だった。

清らかで、小柄で、色白で、なにより可愛かった・・。

俺は一瞬で彼女を好きになってしまった。

「おい？どした秀馬？」

おれは口をぽかんと開けたまま横を向いていた。





## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2399ba/>

---

Boys be ambitious

2012年1月6日01時51分発行